

日本パペットセラピー学会(JPTA)からのお知らせ

*主な記事：新理事長・新理事・新会員ご挨拶、ダニエラさん再来日、国際会議ご報告、第17回大会ご案内等
ニューズレター 2023 No.1
2023年6月1日 JPTA事務局 〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1 尚綱学院大学 東研究室内
メールアドレス info@j-pta.net

2023年度がスタートし、本学会は新理事長・新理事・新会員をお迎えしました。7月にはイスラエルのパペットセラピスト・ダニエラさんが来日され、パペットセラピーが広がりつつあります。(編集長：中下富子)

日本パペットセラピー学会 新理事長としての抱負

新理事長 東 義也(ヒガシ ヨシヤ)



2023年4月に3代目の理事長に就任しました東義也です。

私たちのこの学会の大きな魅力は、様々な専門分野・背景をもつ人たちが集まっている点です。私は保育学を専攻する者ですが、多様な考え方・生き方をする学会員の皆さんから、いつもたくさんの刺激を与えられ勉強させていただいています。

もちろん、学会として共通の目的があります。パペット(人形)を使ったセラピー(療法)によって、他者の利益のためになるろうとしている点です。この他者とは、あらゆる年代や状況下の人たちを対象にしています。

これからも皆さんの知識と実践の知恵を持ち寄って、また、海外の動向からも学んで、家庭も含めた自らの持ち場で生かしていけるように頑張りましょう。

そのためにもう少し仲間を増えることを願っています。学会として発信力を上げ、会員を増やしていくことが理事長としての私の今の抱負です。

どうぞよろしくお願いたします。



新理事としての抱負

新理事 根岸衣美子(ネギシ エミコ)

今年度より、理事の仲間入りをさせていただきます。まだまだ腹話術の初心者で池田名誉理事長ご夫妻のご指導の下、『腹話術』の基礎から勉強中です。『腹話術の祭典』『パペットセラピー学会大会』ともに、世界中で活躍されている腹話術師やセラピストのゲストを迎えるの大会の中で、深い学びや驚き、そして喜びをたくさんいただいております。

私が初めてパペットに出会った時の感覚は、パペットに命が吹き込まれ、その不思議な世界に見事に引き込まれたことです。ところが更に驚いたことには、その生きたパペットが、心身共に病み、不安でいっぱいの子どもたちの眼をキラキラとさせている『パペットセラピー』に出会ったことです。一人でも多くの人に、子どもたちに、「パペットセラピー」を知ってほしいと心から願います。



“I hope Peaceful world!”

どうぞよろしくお願申し上げます。



新理事としての抱負

新理事 東海林照子（トウカイリン テルコ）

新理事に就任いたしました東海林照子です。元幼稚園教諭です。

今は、未就園児親子・子どもたちのところへ保育腹話術公演・パペットセラピー活動をしています。幼稚園教諭時代から、教室で子どもたちにお話をする時に、パペットを使っていました。パペットを介在すると子どもたちの瞳の輝きが変わるのが大好きです。その子どもたちの瞳に魅了され、パペットの持つ効果について研究をはじめました。

今後も保育・子育て支援という分野で、パペットの効果を学会の皆さまにお伝えできたらと思っています。

また、学会では、さまざまな分野でのパペット介在の目的やパペットの機能など学ぶことができます。パペットの効果に気づきながらも、パペットの介在方法に迷われている方もいるかもしれません。パペットの表現や機能について、実践の話、困り事など気軽に話せるそんな時間が持てると思っています。たくさんの人にパペットを手にとってほしい！そんな思いを大切にしています。どうぞよろしく願いいたします。



新入会員としての抱負

新会員 洲貝麻里（スガイ マリ）

「山梨県立美術館で、矢崎育子先生のパペットショーがあるよ」とお友だちに教えていただいたのが6年前でした。当時娘たちは9歳、7歳、2歳。かわいくて優しく楽しいパペットと育子先生とのやり取りに、娘たちの目が輝き、私はとても癒されたことを覚えています。このパペットを使って子育てがしたいと思ったのがきっかけで、育子先生からパペットを学ばせていただくことになりました。

これからはさらに、日本パペットセラピー学会の先輩方のパペットショーを鑑賞させていただいたりして、家族や周りの人たちの心を癒し、笑顔の輪が広がるよう、学びを深めていきたいと思っています。

新入会員としての抱負 ～娘ともっと会話ができるようになるために～

新会員 中澤 綾（ナカザワ アヤ）

パペットとの出会いは、思い返せば5年ほど前、障害を持つ娘が所属する会のクリスマス会での矢崎育子先生のパペットショーでした。目をキラキラさせ喜んで子どもたちと同様に、私は感激を受け「いつか私もこんなふうに腹話術をしてみたい！」と先生にお伝えしたところ、「思い立ったが吉日。今すぐ始めたほうが良い。」とアドバイスを受け、レッスンを受け始めたのです。初心者だった私も育子先生の生徒さんの中では、腕前は上がらないままいつの間にか年数だけはベテランになってしまいました。何の資格も持たない私にとって、パペットセラピー学会はハードルが高く、入会について考えたこともなかったのですが、育子先生からの勧めと学会の大会に参加することがきっかけとなり、この度入会させて頂くことになりました。

昨年の大会に出演されている皆さんの雰囲気がとても素敵でした。皆さんがパペットの魅力に引き付けられ、ご自身も楽しみながら、人々に癒しや笑顔をお届けする活動を行っている姿に大変刺激を受けました。

また、パペットにはこの学会の名称通りセラピー効果があるということも魅力の一つです。

10歳になったダウン症の娘は、最近、吃音が目立つようになってきました。もともと構造的な問題で発音が悪いのですが、吃音が加わり、益々聞き取りにくくなってきたように思います。彼女が今後楽しい人生を送るために周りの人々と意思疎通ができるようにコミュニケーションができれば良いと思っています。具体的な方法はまだ分かりませんが、育子先生や学会の皆さんから学びながら、これから楽しみながら頑張っていきたいと思っています。

そして、もっとたくさんの笑顔を見ていきたいと思っています。



Daniela Hadasy (ダニエラ・ハダシー) さん再来日

名誉理事長 原 美智子 (ハラ ミチコ)

イスラエルのパペットセラピストで、本学会の名誉会員のダニエラ・ハダシーさんが5年ぶりに来日します。ダニエラさんは2007年の学会創立当時から、私たちを理論と実践両面で支援してくださっています。

特に2011年3月11日に発生した東日本大震災に関しては、今日までずっと心を寄せてくださっています。

震災の年の10月には、パペットセラピーのクルーを従えて、大船渡市の子どもたちのところに支援に入りました。その後も繰り返し被災地の子どもたちのところに来てくださいました。繰り返し訪問することが重要といわれます。

PTSD (心的外傷後ストレス障害) をかかえた親や保育士、教師など大人たちも癒されました。特にダニエラさんが開発したパペットセラピーの手法、未完成のパペットを子どもたちに渡して、子どもたち自身が思い思いに自分のパペットに完成させて、そのパペットに話しかけたり、つらい思いを言わせたり、一緒に歌ったり踊ったりする方式は「シャロームパペット」と名付けられて、JPTA (日本パペットセラピー学会) に引き継がれ、その後多くの会員が各地で実践しています。

今回の訪問では、人形作家の須藤恵子会員が製作したシャロームパペットを用い、森平直子理事の企画で相模女子大学子育て支援センターにおいてワークショップが開催されます。実践の終わりには、同行されるピアニストの息子さんが宮沢賢治の「星巡りの歌」を演奏して、子どもたちがパペットを抱きしめます。

見学は自由 (無料) です。是非このユニークな能動的なパペットセラピーを目撃してください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

第16回おもちゃ図書館国際会議 (ITLA) に参加して

副理事長 高村 豊 (タカムラ ユタカ)

おもちゃ図書館では、世界30数か国が参加しているトイライブラリー (おもちゃ図書館) の国際会議が3年ごとに開催されています。今回、2023年3月3日から7日までオーストラリアのメルボルンで開催されました。日本の代表として参加した高村 (おもちゃの図書館全国連絡会副理事長) は、ワークショップでリサイクルおもちゃや、折り紙でのパクパク人形つくりを指導させていただきました。牛乳パック

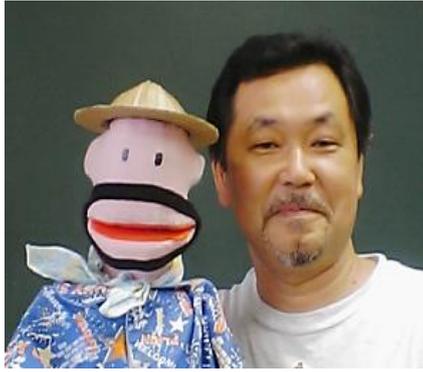
の人形、折り紙で作るパクパク狐、カッパなど、参加し制作した方々の微笑みを誘ひ、大変喜んでくださいました。

最終日にはオーストラリア最大のおもちゃショー (おもちゃの展示会) があり、「モダンクラシックトイ」として木製の玩具の展示に注目しました。日本の展示会のような騒々しいおもちゃショーではなく、静かに落ち着いて見学・視察ができました。アメリカの有名なメーカーのパペットもありました。

(牛乳パックパペットは、今大会でも参加者の皆様に制作していただきます。)



2023 年度日本パペットセラピー学会第 17 回大会のご案内



大会長 岡 信行 (オカ ノブユキ)

大会テーマ：「パペットセラピーと教育」

日 時：2023 年 10 月 29 日 (日) 10 時～16 時

会 場：国立音楽院 B1 パラダイスホール

東京都世田谷区池尻 3 丁目 28-8

大会長：岡 信行

副大会長：高村 豊

準備委員：森平直子・東海林照子

前夜祭：2023 年 10 月 28 日 (土) 18 時～20 時

今年度の大会は、10 月 29 日 (日) に東京都世田谷区池尻にある国立音楽院で「パペットセラピーと教育」をテーマに開催いたします。国際人形劇連盟の和気瑞江氏による講演や、様々な教育現場でパペットを導入して活躍している先生方によるシンポジウムのほか、国立音楽院の「パペットセラピー講座」の受講生たちによる人形劇の上演や、牛乳パックを使ったパペット作りなども計画しています。

参加申し込みは 8 月 6 日から受付を開始します。学会ホームページ等からお申し込みください。

参加費は、会員 2000 円 非会員 3000 円 学生 500 円で、抄録集はデータでお送りいたしますので、印刷してお待ちください。そして、よろしければ、お持ちのパペットと一緒にご参加ください。

前夜祭の会場は渋谷駅近くのお店です。パフォーマンスしてくださる方を募集します。奮ってご参加ください。皆様とパペットにお会いできるのを、楽しみにしています。

日本パペットセラピー学会地域活動助成金の支給について

本学会の目的達成のための各地域における各種活動に助成金を支給しております。

各種活動とは、パペットセラピーに関する研究会、講習会、講演会、その他理事長が適当と認めた活動で営利を目的としないものとしています。

助成金は、団体または個人単位で申請するものとしており、1 年度に 1 万円としています。

助成金を申請する場合には、「日本パペットセラピー学会地域活動助成金交付申請書」及び「日本パペットセラピー学会地域活動報告書」の提出、さらに学会誌への記事とすることが求められます。支援金は書類が受理されれば、2 週間以内に指定口座に振り込まれます。

地域活動の発展のために、この助成金をご活用ください。詳細は、学会ホームページをご覧ください。

事務局だより

この 4 月から事務局が宮城県名取市の尚綱(しょうけい)学院大学に移りました。

東北では大手の七十七銀行の通帳を作ったり、ゆうちょ銀行の理事長名の変更手続きをしたり、また、新入会員に送る学会誌やパペットの引っ越しが丁度終わったりして、少しホッとしているところです。

この後は、イスラエルのダニエラさんを再びお迎えする準備や第 17 回大会のサポートに尽くしたいと思います。

会員の皆さんお一人お一人のパペットをめぐる学びや研究、そして活動のために学会が少しでもお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願ひいたします。(東 義也)

